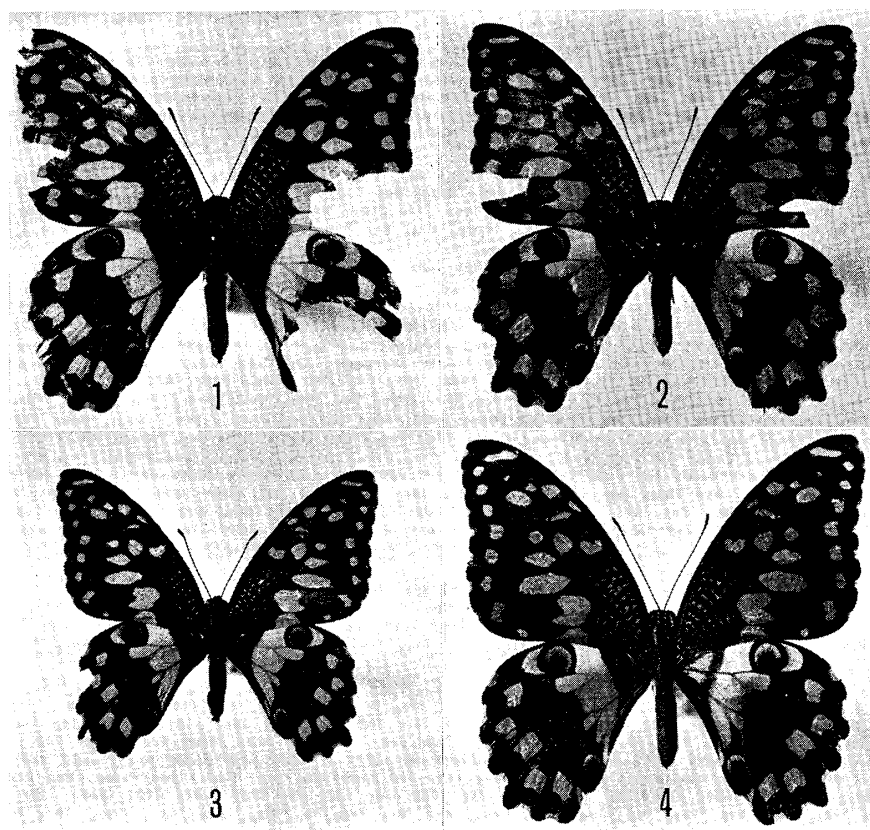
与那国島のオナシアゲハ

仁坂吉伸
東京都世田谷区上北沢4—19—12—405

Notes on *Princeps demoleus libanius* Fruhstorser (Lepidoptera: Papilionidae) in Yonaguni Island, the Byukyus

YOSHINOBU NISAKA

オナシアゲハ *Princeps demoleus* Linnaeus が最近その分布圏を著しく拡げていることは，宮田らによって報告されているが，筆者は1973年10月7日ならびに8日，沖縄県八重山群島の与那国島において本種を4♀採集する機会を得たので報告したい．日本における本種の採集記録は，戦前の佐賀県唐津市の1例があるのみ（山口，1937）で，戦後の記録としては今回が初めてであると思う．

10月7～8日の与那国島は台湾南部に抜けた台風の影響で風が強く晴れ間が少し出たかと思うとたちまち曇り雨もぱらつくというあまり芳しからぬ天気であったが，島第一の集落である祖納の部落の中には本種のみがかなり活発に飛び交っていた．しかし，両日とも採集時刻は午後遅くであって，島の中央部より部落に帰って来ると，本種

Figs. 1—4. *Princeps demoleus libanius* Fruhstorfer, ♀, Yonaguni Island, Ryukyus.

の飛んでいるのが目に入り採集したものである．初めは単なる迷蝶と考えていたため十分その活動を観察しなかった．4頭も採集したこと，他にも目撃個体が数頭あったことなどから，少なくとも一時的に与那国島で発生したことは間違いないと思う．汚損のひどい個体が多いことより，羽化後かなりの日数がたっているように思われる．しかし，同年9月23〜26日に与那国島で採集された本会会員の福田正氏のお話によれば，当時オナシアゲハはまったく見られなかったとのことである．おそらくそれ以後一時に発生したものであろう．食樹と推定されるミカンは，祖納部落の人家の庭にぽつんぽつんと栽培されており，一個所に小さなミカン畑があったように記憶しているが，食害状況などまったく調べることなく終ったのは残念である．

このオナシアゲハの亜種は間違いなく台湾産亜種 *libanius* Fruhslorfer だと思われるが， 4頭とも，前翅表面後縁の2つの黄白色紋のうち，内側の紋が通常の台湾産の個体よりもやや横長であるという共通の特徴が見られるが，その横長の程度は，マラヤ産亜種 *malayanus* Wallace ほど顕著ではない．また，黄白色紋の色調に二通りの型があり，figs. 1-2 の個体は黄白色紋が明るく白味を帯び figs. 3-4 の個体はそれが赤茶色味を帯びている．各個体の新鮮度から判断すると，この色調の相違は単なる褪色によるものではないと考えられる．

一時的に発生したこのオナシアゲハが，そのまま与那国島に土着を続けるか，絶滅してしまうか，今後の調査が期待される．

末筆ながら，報告に際して色々と御教示を賜わった宮田彬，福田正両氏に感謝の意を表したい．

参考文献

磐瀬太郎 (1969) オナシアゲハの6つの亜種．やどりが 60号：24—27.

宮田 彬 (1971) フィリピン・パラワン島のオナシアゲハ，蝶と蛾 22：81—85.

——— (1973) フィリピンのオナシアゲハについて．蝶と蛾 24：37—41.

山口 登 (1937) 北九州東松浦半島唐津附近昆虫雑記．昆虫界 5：207—209.

Summary

On October 7th and 8th, 1973, I captured four females of *Princeps demoleus libanius* Fruhstorfer (figs. 1—4) at Sonai, Yonaguni Is., one of the southwesternmost islands in Japan. As far as I know, this is the first record of this species from the Ryukyus and the second time it has been recorded from Japan.

追記 本報告の印刷中，1973年の八重山群島におけるオナシアゲハの記録が「昆虫と自然，第9巻第5号(1974)」に発表されたことを知ったので追記しておく．それらは支那国島祖納での8月における1♂の採集（中司文典），西表島での秋における目撃（梶原良二）である．

Note. While this paper was in the press, two records of *Princeps demoleus* from the Ryukus in 1973 appeared in the Nature and Insects (vol. 9, no. 5, p. 2, 1973), viz., the catch of a male butterfly taken at Sonai, Yonaguni Is. on Aug. 20 (after Nakatsukasa), and the ocular observation of butterfly flying in Iriomote Is. in the autumn (after Kajihara).